

「CF（固体内核反応）研究会」要項

2019年12月13日改訂

2022年3月5日改訂

1. 名称：日本名を「CF(固体内核反応)研究会」とする。英文名を Japan CF-research Society とし、略称を J C F とする。
2. 目的：CF 研究により学術および技術の進歩をはかり、会員相互の連絡・研修を行い、CF 研究の昂揚・発展に寄与することを目的とする。
3. 事業：
 - (1) CF 研究分野での学術および技術の研究、調査。
 - (2) 会員相互の調査研究の連絡、国際協力・研究の窓口。
 - (3) 年会、分科会、討論会、講演会、などの開催。
 - (4) 会誌、研究報告、資料の刊行。
 - (5) 学術および技術資料の収集。
 - (6) その他。
4. 会員：正会員、終身会員、賛助会員、推薦会員および学生会員。
 - (1) 正会員は、CF 研究に関する学術および技術に関与する者。
 - (2) 終身会員は、正会員として6年間年会費を納入した者。
 - (3) 賛助会員は、本会の目的に賛同し、その事業を援助する企業または団体。
 - (4) 推薦会員は、CF 研究開発についての功績顕著の者、また本会の目的達成に多くの貢献をした者で、総会の議決によって推薦された者。
 - (5) 学生会員は、学生であってCF 研究に関連する研究・学習にあたっている者。
5. 会費：

正会員； 年額 5,000 円、 入会金 10,000 円
賛助会員；一口 50,000 円（1 件につき 1 口以上）
学生会員；入会金および年会費なし
※ただし、2022 年より当面の間、年会費の徴収を休止する。
6. 役員：
 - (1) 代表幹事 1 人、副代表幹事 1～2 人をおき、運営とりまとめと対外代表窓口をつとめる。

- (2) 幹事数名をおき、学術調査、研究会企画、会誌・資料の編集発行、などの行事にあたる。
 - (3) 部門担当幹事のもとに、各種委員会（企画、編集、国際協力、など）をおくことができる。
 - (4) 幹事の任期は2年とする。
 - (5) 本会に顧問をおくことができる。
7. 分野： 分野としては、従来の単一学会では取り上げにくかった範囲に属するもので、実験・理論・技術開発の面で境界または学際的に、以下の既成分野が2つ以上融合または組み入れられたものが主体である。

核物理、核融合、放射線物理・工学、凝集体・固体物理、材料物性、表面物性、金属工学、水素吸蔵・放出、電気化学、熱測定、加速器ビーム科学、レーザー工学、原子力・量子工学、分子動力学、超音波工学、など。